



スーパーグローバルハイスクール (SGH) ホームページ
 SGHの活動に関する最新の情報はホームページでご確認ください。
 URL: <http://www.sghc.jp/>



【諸注意】

- ・SGH指定校代表生徒によるオープニング演奏中の入退出はご遠慮ください。
- ・オープニング演奏及び第2部SGH指定校代表生徒によるディスカッションの写真・動画の撮影や録音はご遠慮ください。
- ・第1部、第3部は撮影可能です。撮影の際には、周りの方へのご配慮をお願いいたします。

MEMO

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

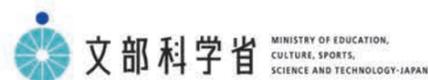
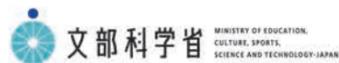
スーパー
グローバル
ハイスクール
第1回全国フォーラム

第2回全国フォーラム

グローバル人材育成と
 スーパーグローバルハイスクールの展望

開催日時 12月26日(月)
 平成28年 9:45~16:20

開催場所 お茶の水女子大学講堂
 東京都文京区大塚2-1-1



主催: 文部科学省・筑波大学 (SGH幹事校管理機関)

スーパーグローバルハイスクール(SGH)について

高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、もって、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的としています。スーパーグローバルハイスクールの高等学校等は、目指すべきグローバル人物像を設定し、国際化を進める国内外の大学を中心に、企業、国際機関等と連携を図り、グローバルな社会課題、ビジネス課題をテーマに横断的・総合的な学習、探究的な学習を行います。学習活動において、課題研究のテーマに関する国内外のフィールドワークを実施し、高校生自身の目で見聞を広げ、挑戦することが求められます。指定されている学校の目指すべき人物像や具体的な課題の設定、学習内容は、地域や学校の特性を生かしたものとなっております。

スーパーグローバルハイスクールについて

(平成27年度予算額 11億円)
平成28年度予算額 11億円

- ◆目的:急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する。
- ◆事業概要:国際化を進める国内の大学のほか、企業、国際機関等と連携して、グローバルな社会課題を発見・解決し、様々な国際舞台で活躍できる人材の育成に取り組む高等学校等を「スーパーグローバルハイスクール」に指定し、質の高いカリキュラムを開発・実践する。

- ・委託事業:委託先(都道府県市教育委員会、国立大学法人、学校法人)
- ・対象学校:国公私立高等学校及び中高一貫教育校(中等教育学校、併設型及び連携型中学校・高等学校)
- ・指定期間:5年間
- ・指定校数:H28年度123校(H26年度56校、H27年度56校、平成28年度11校)
- ・中間評価(H26年度指定校)を実施
- ・スーパーグローバルハイスクール(SGH)全国フォーラムを開催



スーパーグローバルハイスクール(SGH)

- 【主な取組】
- ・グローバル・リーダー育成に資する課題研究を中心とした教育課程の研究開発・実践
 - ・英語等によるグループワーク、ディスカッション、論文作成、プレゼンテーションや探究型学習、教科横断型の学び等の実施
 - ・主体的・協働的な学び(アクティブ・ラーニング)の重視
 - ・企業や海外の高校・大学(ESDを通じたユネスコスクールを含む。)等と連携した課題研究(例:国際的に関心が高い社会課題、地元企業や大学等と連携したグローバルな課題)に関する意見交換及び国内外フィールドワーク
 - ・課題研究の英語等による成果発表会等の開催
- 【大学との連携】
- ・課題研究に関する英語等で指導を行う帰国・外国人講師等の派遣や、外国人留学生による英語等によるサポート
 - ・海外フィールドワーク等の企画・立案に関するノウハウの伝授
 - ・生徒の学習内容の適切な評価
 - ・単位認定を含む高大連携プログラムの提供



英語でのディスカッションの様子 (H26指定校) 渋谷教育学園渋谷高等学校



海外フィールドワークの様子 (H26指定校) 筑波大学附属豊原高等学校



外国人講師による専門指導 (H26指定校) 大阪府立三原丘高等学校

グローバルな社会課題を発見・解決し、様々な国際舞台で活躍できる人材(国際機関職員、社会起業家、グローバル企業の経営者、政治家、研究者等)の輩出

スーパーグローバルハイスクール(SGH) 第1回全国フォーラム 開催趣旨

スーパーグローバルハイスクール(SGH)事業は平成28年度で3年目を迎え、創設時の平成26年度に指定された指定校は、外部有識者によって中間評価を受け、それぞれの取組を見直す機会を得ています。このたび、スーパーグローバルハイスクール(SGH)第1回全国フォーラムを開催し、中間評価において特に優れた取組であると認められ、更なる発展が期待される指定校等の研究開発・実践の事例や成果を共有するとともに、高校生による英語でのディスカッションの場を設けることで、SGH事業を広く普及し、更なる発展を図ります。

プログラム(時間:内容)

- 9:00~9:45 受付
- 9:45~9:55 **SGH指定校代表生徒によるオープニング演奏**
演奏:東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校
藤井凡大作曲『日本の小箱』より ※写真・動画の撮影、録音はご遠慮ください。
- 10:00~10:15 **主催者挨拶** 文部科学大臣政務官 樋口尚也
筑波大学長 永田恭介
会場校代表挨拶 お茶の水女子大学長 室伏きみ子
- 10:20~11:20 **第1部 基調講演**(発表50分・質疑応答10分)
東京大学副学長 吉見俊哉
『文系の知とは何か?』
人文社会科学と自然科学を架橋する高大接続とグローバルリーダー育成』
- 11:30~12:30 **第2部 SGH指定校代表生徒によるディスカッション**(言語:英語)
ファシリテーター:立教大学グローバル教育センター長 松本 茂
ディスカッション参加高校生:下記高校より計6名
渋谷教育学園渋谷高等学校、早稲田大学高等学院、筑波大学附属高等学校、
広島女学院中学高等学校、横浜市立南高等学校、関西学院千里国際高等部
※写真・動画の撮影、録音はご遠慮ください。
- 12:30~14:00 休憩
- 14:00~15:45 **幹事校代表挨拶** 筑波大学附属高等学校長 大川一郎
第3部 優良事例紹介
1.全体講評:
スーパーグローバルハイスクール企画評価会議座長 比治山大学学長 二宮 皓
2.取組紹介(特徴箇所)と今後の展望(各校 発表15分・質疑応答5分)
渋谷教育学園渋谷高等学校
名城大学附属高等学校
島根県立出雲高等学校
広島女学院中学高等学校
3.各取組講評:文部科学省初等中等教育局視学官 長尾篤志
- 15:45~16:00 休憩
- 16:00~16:20 **メッセージ** グローバル・リーダーを育成する高等学校関係者へ
挨拶 比治山大学学長 二宮 皓

基調講演概要

東京大学副学長 吉見俊哉

「文系の知とは何か？」
人文社会科学と自然科学を架橋する高大接続とグローバルリーダー育成」

「国立大文系廃止・縮小」報道が今年の夏、話題になりました。報道の背景には、当時の政治状況やマスコミの思惑、文科省の説明不足等の要因がありました。しかし、問題となった通知と全く同じ内容が1年前にも出されていたことや、国立大学の危機や人文社会科学系の弱体化がすでに10年以上にわたり進んできたことを視野に入れなければ問題の本質は見えてきません。そして、そうした政策的背景以上に重要なのは、私たち自身の中に、「理系は役に立つけれど、文系は役に立たない」という通念があることです。私は拙著『「文系学部廃止」の衝撃』(集英社新書)で、「文系は役に立つ」という主張を展開しました。そもそも「役に立つ」には2つの回路があります。一方で、ある目的に対する手段として役に立つ目的遂行的ないし手段的な有用性があります。他方、目的や価値自体を創出する、価値創造的な役立ちというものがあります。第1の意味、手段的有用性は、その目的が価値を失ってしまったら途端に役に立たなくなります。実際、世の中でこれが一番だと信じている価値は、30年、50年という単位で見ると必ず変わるものです。したがって、そうした価値の変化を分析し、変化を先導していけるような知が必要です。そこで文系の学問が不可欠になってくるわけです。なぜならそれらは、30年、50年、100年という長いスパンで物事を考える学問です。複数の価値の間にある差異やある価値から別の価値への転換を考察することは、文系の知の根本です。今日、理系だけが役に立つかのように思われる傾向があるのは、大学の知が短期間で成果を出すことを要求されてきている風潮と関係しています。しかし、短く役に立つ学問だけでは、末永く豊かな社会を作り出せません。長いスパンで役に立つ文系の知は、私たちが当たり前と思っている価値観や目的を疑ってかかり、それらを相対化し、内側から突き崩し、価値の転換をリードしていく、そのような知が必要なのです。



Profile ● 吉見俊哉 (よしみ・しゅんや)

1957年、東京生まれ。東京大学大学院情報学環教授。東京大学副学長。同教養学部教養学科卒業。同大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。社会学・文化研究・メディア研究専攻。東大新聞研究所助教授、同社会情報研究所助教授、教授を経て現職。2006～08年度に東大大学院情報学環長・学際情報学府長、2009～12年度に東大新聞社理事長、2010～14年度に東大副学長、同教育企画室長、同グローバルリーダー育成プログラム推進室長、2010～13年度に東大大学史史料室長等を歴任。集まりの場でのドラマ形成を考えると近現代日本の大衆文化と日常生活、文化政治を研究。主な著書に、『都市のドラマツルギー』(河出文庫)、『博覧会の政治学』(講談社学術文庫)、『メディア時代の文化社会学』(新曜社)、『「声」の資本主義』(河出文庫)、『カルチュラル・スタディーズ』(岩波書店)、『メディア文化論』(有斐閣、2004年)、『万博と戦後日本』(講談社学術文庫)、『親米と反米』(岩波新書)、『ポスト戦後社会』(岩波新書)、『大学とは何か』(岩波新書)、『夢の原子力』(ちくま新書)、『アメリカの越え方』(弘文堂)、『「文系学部廃止」の衝撃』(集英社新書)、『視覚都市の地政学』(岩波書店)等、多数。



Profile ● 松本 茂 (まつもと・しげる)

立教大学経営学部国際経営学科教授、同大学グローバル教育センター長。専攻はコミュニケーション教育学。マサチューセッツ大学ディベートコーチ、神田外語大学助教授、東海大学教授などを経て現職。学外では、NHKテレビ「おとなの基礎英語」講師、一般社団法人全国高校英語ディベート連盟副理事長、独立行政法人大学入試センター「新テスト実施企画本部新テスト実施企画委員会英語四技能実施企画部会」副部会長なども務めている。著作に「速読速聴・英単語シリーズ」(監修・共著、Z会)、『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』(共著、玉川大学出版部)、ほか多数。

グローバル・リーダーを目指す
高校生へのメッセージ

スーパーグローバルハイスクール企画評価会議書面審査部会座長 立教大学グローバル教育センター長 松本 茂

SGHで学ぶみなさんへ

これからの世界が今まで以上に住みやすくなるとよいのですが、残念ながら悲観的な予測が多いようです。様々な意見があるなかでほぼ共通している点は、ボーダレス化がさらに進むということ、そして地球規模の課題がより複雑化・深刻化するだろうということです。そんな状況において、今SGHで学んでいる皆さんには、世界を舞台にリーダーシップをいかんなく発揮していただきたいと思っております。そのために必要な知識・スキル・態度などを身につけるには、「課題探究学習+グループワーク+英語学習」の組み合わせがベストミックスだと確信しております。そして、「個人学習→授業でのグループワーク→発表」のサイクルを回すことです。大学卒業後どのような仕事や立場で自分の力を生かすのか、そのためには大学で何をどう学ぶのか、ということも考えてSGH課題探究に取り組みつけてください。

グローバル・リーダーを育成する
高等学校関係者へのメッセージ

スーパーグローバルハイスクール企画評価会議座長 比治山大学学長 二宮 皓

SGH指定校及びアソシエイトに対して、「将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダー」の育成を意図した「質の高いカリキュラム」の研究開発・実践にご尽力されていることに感謝と敬意を表する。

本フォーラムでは、そうした貴重な取組みの中でグローバル人材像をどのように描くのか、グローバル課題をどうとらえ、グローバル・リーダーをどのように育成することができるのか、そのための学校体制はどうあるべきか、さらには当初の計画では思いもよらない課題や困難さがあるのか、など多くのことを学ぶことができる。特に、生徒の海外体験を人材育成にどのようにつなげることができるのか、生徒の言葉力はどうすべきか、大学や企業との連携はどうか、最後に高大接続はどうあるべきかなど研究すべき課題は山積している。

「グローバル・リーダー」育成カリキュラムの開発・実践においてそれぞれ多様で独自性の高い創造的アプローチが展開され、多くの示唆を得ることができる大変興味深いフォーラムとなる。



Profile ● 二宮 皓 (にのみや・あきら)

1945年、鳥取県生まれ。比治山大学学長。米子東高卒業、広島大学教育学部卒業、同大学大学院教育学研究科博士課程中退、在籍中米国フルブライト留学(コネチカット大学)。文部省調査課、広島大学教育学部講師、助教授、教授、広島大学留学生センター長、教育開発国際協力研究センター長、米国シートン・ホール大学客員教授(Executive Ed.D.プログラム集中講義)、広島大学理事・副学長(研究・国際)、放送大学理事・副学長(学務)を経て、2013年から現職。中央教育審議会グローバル人材育成WG座長、大学教育部会臨時委員など。専門は比較・国際教育学。『世界の学校』(「世界一受けたい授業」出演)、『こんなに違う・世界の校則』など。

